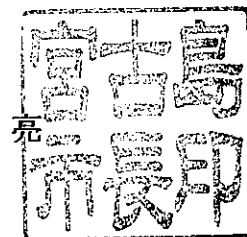




宮建道第 260 号
平成20年 10 月 24 日

国土交通省道路局長 殿

宮古島市長
伊 志 嶺



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあったみだしの件について、
別紙のとおり提出致します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

沖縄県 富吉島市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

(改善すべき点)

1. 道路関連公益法人については、整理縮小を行い独立採算法人（民営化）も検討出来ないか。

(要望)

1. 道路特定財源の一般財源化に伴い地方に格差が生じないようにして欲しい。
2. 見通しの悪い交差点の改良や街灯設置の支援。
3. 電線共同溝を整備し、無電線化による災害時のライフラインの確保支援。
4. 日常生活を支える生活幹線道路ネットワークの整備支援。
5. 観光施設、リゾート施設を結ぶ道路整備支援。
6. 道路維持管理に関する補助対象メニューの拡大の検討。

②－１地域の現状と抱える課題

○現状

本市の交通形態は、軌道交通がないことから、道路交通に依存しており、道路の整備が市民生活や地域産業活動に与える影響は大きいものがある。

道路改良率は 64.8%、と高い水準にあるものの未だ幅員が 5.5 m 未満の狭小な道路や歩道がない路線も多く交通の安全性、利便性に問題のある箇所も見られる。

本市は、平成 17 年 10 月に 1 市 3 町 1 村が合併し、宮古島市として誕生しましたが、道路整備については旧市町村単位で進められてきた経緯があり今後、旧市町村間の地域連携や相互交流を図る上でも一体的な幹線道路の見直し及び整備が必要である。

○課題

- ・ 幹線市町村道の見直し
- ・ 増加する交通需要や多様化する利用者のニーズへの対応。
- ・ 地域特性を活かした道路整備
- ・ 産業振興の基盤整備を図り、活性化や定住化を支援する道路整備

②－２地域の目指すべき将来像

「基本方針」

地域間の連携や地域の活性化に資する道路・橋梁等の整備を推進し、幹線道路や生活道路の整備に加え、歩行者や自転車が快適で安全に通行できる道路の整備を進める。

「施策の推進」

- ・ 誰にでも優しい道づくりを基本に、幹線道路、通学路、歩道及び交通安全施設などの整備を図る。
- ・ 災害時の交通機能確保に向け、電線類の地中化を促進する。
- ・ 富吉本島と伊良部島を結ぶ伊良部架橋の早期開通に向け、関係機関と連携し取組む。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

沖縄県 宮古島市

③道路施策の重点事項（代表例、期待する効果や評価等）

（重点事項）

- ・高齢者や障害者も含め、誰にでも優しいみちづくり
- ・歩行者の安全性を考慮したみちづくり
- ・快適な生活環境のためのみちづくり
- ・自然、環境に優しいみちづくり
- ・災害に強いみちづくり